

# 組曲新聞

成長し「あい」をつなぎ、誇れる組曲を

十九代目広報部門発行

## 十九代目十月公演に向けて

### 広報 新組曲を届ける

○この組曲新聞は、十九代目になり、新しく変化した組曲を届けます。  
 ○十九代目広報部門では、新聞チームとパブリックチームに分かれています。  
 パブリックチームでは、スライドやパンフレットを作成し、組曲を初めて見る人にも、組曲を分かりやすく届けていきます。  
 ○今年の組曲は、公演の回数が少なくなりましたが、これからの少なくなっていくかもしりませんが、そこで、それぞれの部門の練習風景など組曲の裏側を伝える動画を作成しています。



### 太鼓部門 静と動のメリハリに注目

太鼓部門は、大鼓・チャップンキ・篠笛に分かれています。大鼓では、静と動のメリハリを目標として練習をしています。その目標に向けて、気持ちを落ち着かせることを頑張っています。篠笛では、息をたくさんつかうことを頑張っています。チャップンキを付けることを目標にしているそうです。見えていくんださる人も、笑顔にできるような静と動のメリハリに注目して見てください。



### 田力踊り

男踊りの力強さに注目！

十月公演に向けて、全員の形をそろえることや、大きな声を出したり、動きのメリハリをつけたりして、歴代の男がどりを超えることを目標としています。  
 練習しています。  
 男がどり部門の見どころは、一人一人の動きが、皆と合っているところです。  
 音、動き、息の全てにおいて、全員の所作を合わせています。



### 女踊り

華やかさ、笑顔に注目！

女踊りは3つの部門に分かれて活動しています。  
 言葉などは表現出来な華やかさ、指先まで思いをこめて踊るしなやかさ、指先から踊りの縁がでず。  
 そして米とぎは力強さや地に足をついて踊る安定感、特徴あるリズムに注目してほしです。  
 静寂に包まれた中で、太鼓と神楽鉦の音色から始まる巫女踊りは「優雅」という言葉が一番ふさわしいです。



### 舞台演出 すばやい舞台のセットに注目！

舞台演出部門は舞台のセットを作ったり、スポットライトを当てたりと組曲を支える大切な部門です。  
 舞台演出で頑張っていることは、十五分以内に舞台をセットすることです。  
 また、ライトのタイミングを他のライトと合わせることも意識して取り組んでいます。  
 今回の十月公演では、一人一人が自分の役割をカンペキにこなすことです。  
 そして、舞台上立つ人が輝けるようにすることです。



### 合唱 歴代の組曲を越えられるような歌を！！

合唱部門は、10月公演に向けて、今できる限りの最大限の力で歌いきることを目標に取り組んでいます。  
 合唱部門では、ソプラノ、アルト、テノール、バスの4つのパートに分かれて、日々公演に向けて練習しています。  
 最後に歌う「ふるさと」では、ふるさと思ふ気持ちを届けている人に届けられるようにしたいです。  
 総譜では、十九代目の良さをしっかりと継承することができるように、責任をもつてやりとげます。  
 合唱部門は、組曲を緑の下で支えているような存在です。



各部門、それぞれが工夫し、笑顔絶やさない様に頑張ります。